



前高通信

蛟龍から風

令和4年11月21日(月)

第19号

発行

群馬県立

前橋高等学校



# 2学年修学旅行 平和学習



平和記念公園 (5組)



姫路城 (4組)

2学年は広島・大阪・京都方面への修学旅行を実施した。例年旅行先は沖繩であったが、新型コロナウイルスの収束が未だ見えない状況を鑑み、行き先の変更を余儀なくされた。

初日は広島を訪れ、平和記念公園で平和学習を行った。クラス別研修では、宮島の厳島神社や、姫路城、海上自衛隊呉基地など、各クラスで選択した研修先を訪れた。最終日には、学年全体で京都の伏見稲荷や平等院、三十三間堂などを巡り、古都の魅力に触れた。

以下、修学旅行委員の今西智紀君(2年6組)のコメントである。

「沖繩には行けなかったが、広島に行ったからこそ学べたことがあった。平和記念公園は生半可な気持ちで行くべき場所ではないが、戦争の実情を知るために一生に一度は行くべき場所である。世界の人にもこの場所を知って欲しいと思った。また、日本古来の文化の象徴である京都を訪れた際には、日本史の授業で学んでいる知識と見学地の実際の様子とをリンクさせることができ、深い学びに繋げることができた。」

## 筑波研修

最先端の技術を体感

群馬県民の日である10月28日(金)、筑波研修が実施された。本行事は、最先端の科学技術を研究開発する現場を実際に肌で感じ、イノベーション人材に必要とされる資質・能力である「質問力」や「観察力」を培うことを目的としたプログラムである。1・2年生を対象に希望者を募り、今年度は約120名が参加した。生徒たちは5つのコースに別れ、JAXA筑波宇宙センターやサイバーダイナミクススタジオ、積水ハウスエコ・ファースト・パーク、サイエンス・スクエアつくばといった研究所を訪問した。

参加した平野緑也君(2年)は「研究という視点で見ると高校の勉強はまだまだ狭く、実際は想像以上に大きい世界が広がっていることを実感した」と語った。参加者たちが各々の視座を高めることができたことを確信する。



JAXA 宇宙センターにて

## 部活動の活躍

陸上競技部 10月22日(土)、23日(日)に神奈川県で開催された、関東大会に星野大翔君(2年)が800mに出場。走幅跳に出場した飯塚柁翔君(2年)は、8位に入賞した。

剣道部 11月13日(日)、学年別剣道大会が開催された。2年男子の部において、石原侑武君が優勝した。決勝戦では、迷いなく打ち切った飛び込み面が決まり、一本勝ちをおさめた。吉田佳樹君は同部門で第3位に入賞した。



### ラグビー部

全国高等学校ラグビーフットボール大会群馬県予選が行われ、一回戦を突破し、準々決勝で県央高校に敗れた。本大会で引退となった3年生5名は、受験勉強との両立を図りながら、一人も欠けることなく10月まで厳しい練習を続けてきた。部長の飯塚芹卯君(3年)は、「やり切った感がある。受験も頑張ります」と達成感を表した。

### 囲碁部

関東高校囲碁選手権が開かれ、個人戦で宮沢優希君(2年)が優勝、松永恵君(2年)が1マに開催された、第28回群馬県高等学校総合文化祭に本県からも複数の文化部が参加した。ギター・マンドリン部と音楽部は演奏を行い、書道部は書道部は作品の展示を行った。

### 県総文祭

「今ここからその先へ」をテーマに、第28回群馬県高等学校総合文化祭に本県からも複数の文化部が参加した。ギター・マンドリン部と音楽部は演奏を行い、書道部は書道部は作品の展示を行った。道研究部は鉄道模型ジオラマの展示を行い、上毛新聞に掲載された。



ラグビー部 集合写真



書道部 作品とともに

## 1学年 分野別オンライン研修



11月8日(火)、キャリア教育の一環として、分野別オンライン研修が行われた。大学教授や研究所の研究員を講師として招き、オンラインで研修が実施された。医療や健康、裁判、産業と技術、地震、感染症、人口減少、さらには言語習得など、講座の種類は多岐に渡り、生徒たちは各々の将来のビジョン、興味関心に従って講義を受講し、新たな知見を得た。